

# 知床のエコツアーリズム戦略と 地域資源の活用・保全

北海道大学観光学高等研究センター 敷田麻実

# \* 世界自然遺産管理におけるエコツーリズム

## 世界自然遺産地域管理者

環境省  
釧路自然環境事務所

林野庁  
北海道森林管理局

北海道

## 知床世界自然遺産地域科学委員会

海域WG

河川工作物アドバイザー会議

エゾシカ・陸上生態系WG

科学者による会議  
(助言機関)

適正利用・エコ  
ツーリズムWG

## 知床世界自然遺産地域連絡会議

町、漁協、  
知床財団等

地域との連携・  
協働のための会議

適正利用・エコ  
ツーリズム部会

シンボルマーク  
管理運営部会

知床世界自然遺産地域適正利用・エコ  
ツーリズム検討会議  
(H22.4 ~)

持続的な利用  
のための会議

## \* 各ワーキンググループの活動

知床世界自然遺産地域科学委員会（大泰司紀之委員長）

- 海域ワーキンググループ（桜井泰憲座長）

「知床の海の保全と持続的漁業」

- 河川工作物アドバイザー会議（中村太士座長）

「海と川と陸のつながりを復元する - 知床におけるダムの改良」

- エゾシカ・陸上生態系ワーキンググループ（梶光一座長）

「知床のシカの急増が及ぼす植生への影響と管理」

- 適正利用・エコツーリズムワーキンググループ（敷田担当）

< 平成23年度より >

# エコツアーに関するIUCNの勧告の内容

- 勧告14

遺産地域に関する、**統合的なエコツーリズム戦略を出来る限り早急に策定すること**。この戦略は、遺産地域の自然価値の保護、観光客の自然に基づく良質な体験の促進、地域経済の発展の促進を基本とすべき。

- 勧告15

”適正な利用”と”エコツーリズム”に関連した現在の活動を継続するとともに、**統合的な方法でこれらの事項に取り組むことを確保するため、包括的な一つのワーキンググループのもとに統合すること**。

- 勧告16

知床のエコツーリズム戦略と、知床内の**観光と経済的開発の地域戦略との間に密接に連携・統合を確保すること**。

# エコツーリズム戦略は必要か？

- IUCNの勧告
- 知床世界自然遺産のブランド化
- エコツーリズムの普及と期待？
- エコツアーの与える影響の顕在化
- 地域主導のテスト実施



# エコツーリズム戦略の3視点

知床地域のブランド化を通じた地域づくりのための

プラットフォームの構築

地域ガバナンスの再構築

地域資源保全戦略の具現化

プラットフォームとは「複数のアクターが参加し、コミュニケーションや交流することで、相互に影響し合って何らかのものや価値を生み出すしくみ」敷田ほか(投稿中)

ガバナンスとは「多様な主体の参加と協働のネットワークによって機能する政策決定や社会をまとめていくあり方」(齋藤ほか 2011)

# プラットフォーム戦略

- エコツリーリズムを共有する場
  - 多様な関係者の合議が利益を拡大
- 課題解決の共通化が必要
  - 場所による解決レベルの差の解消
- 自由な発想や創造性をいかす
  - エコツア－事業者・ガイドの主体性

プラットフォームとは「複数のアクターが参加し、コミュニケーションや交流をすることで、相互に影響し合って何らかのものや価値を生み出すしくみ」

# 地域ガバナンスの再構築

- 2005年前後から管理者(国)の存在が拡大
  - 管理する・される側に分かれがち
  - エコツアー実施者と協働の機会が少ない
- 
- 地域主導に仕組みに転換できるか

ガバナンスとは「多様な主体の参加と協働のネットワークによって機能する政策決定や社会をまとめていくあり方」(齋藤ほか 2011)

# 地域ガバナンスの再構築

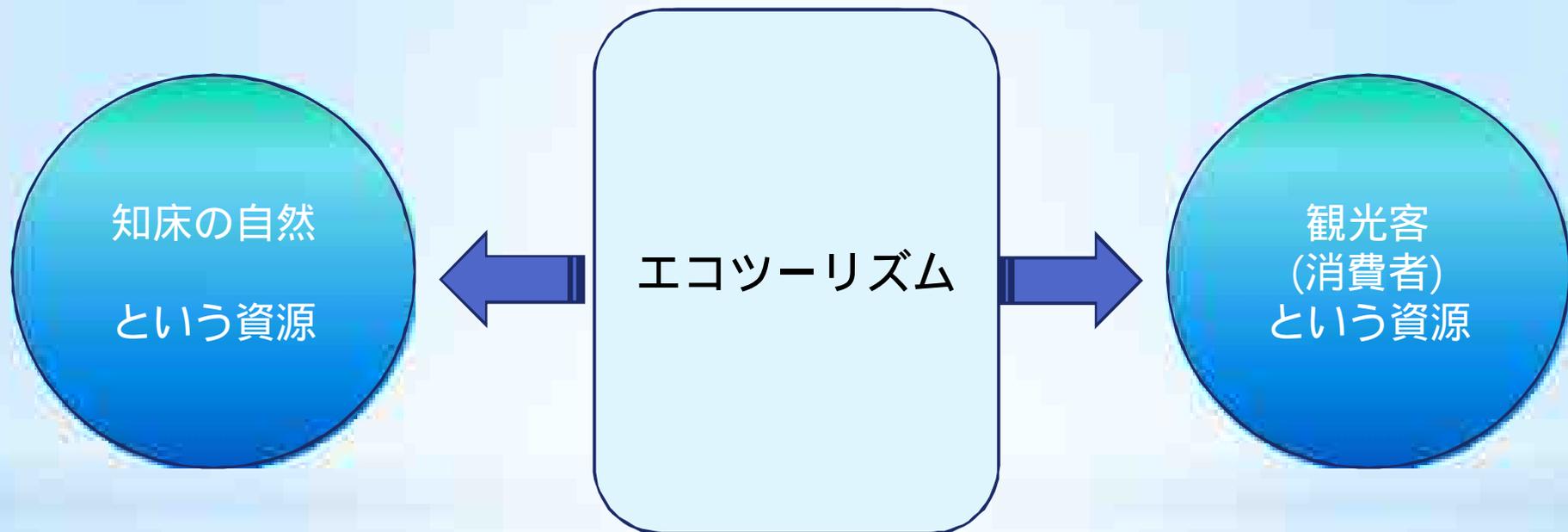
- 管理者(国)の存在が拡大
- 管理する・される側に分かれた現在
- 地域主導への期待と不安



新たな管理枠組みを戦略で構築する

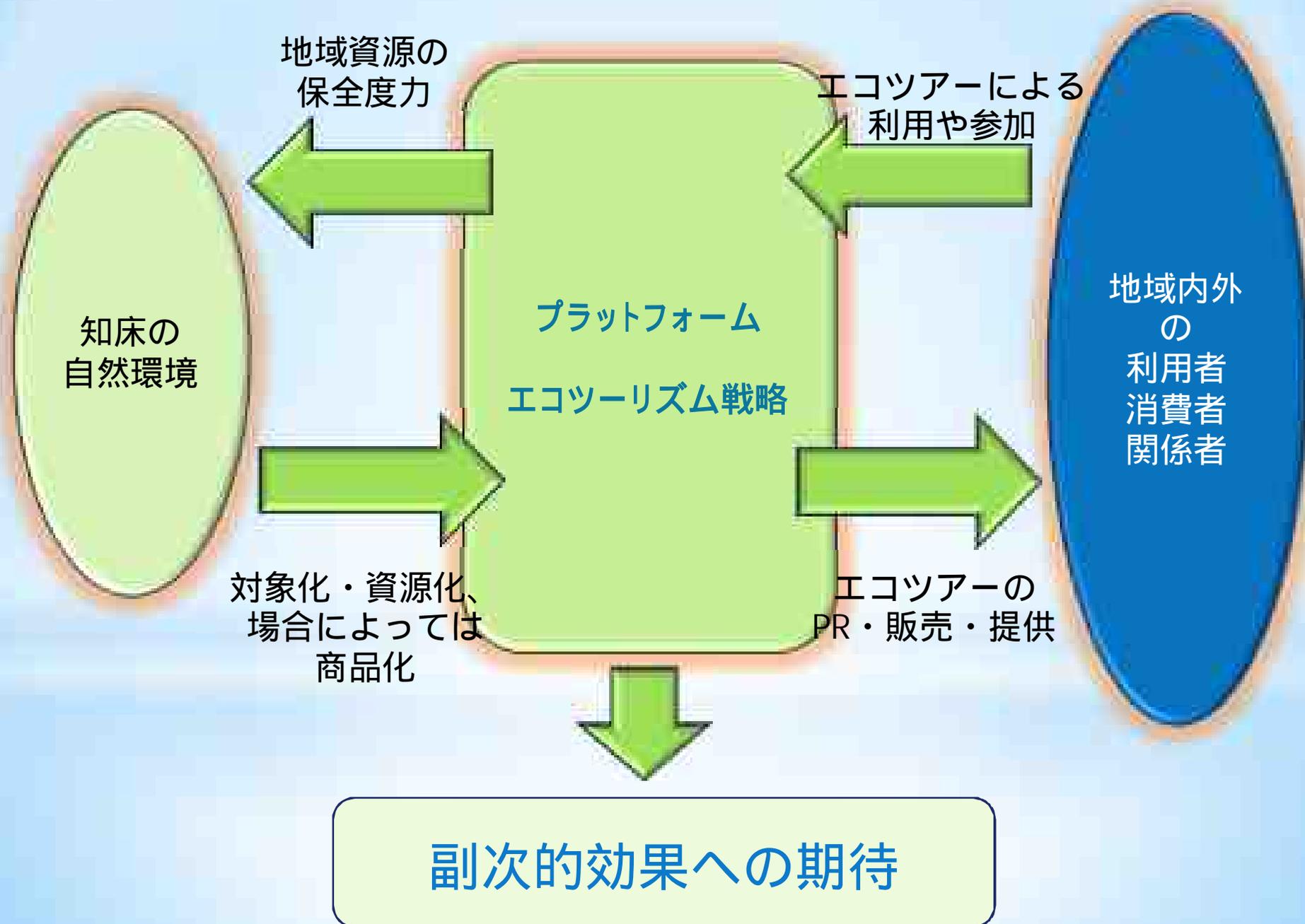
ガバナンスとは「多様な主体の参加と協働のネットワークによって機能する政策決定や社会をまとめていくあり方」(齋藤ほか 2011)

# 観光(エコツーリズム)の特殊性



観光システムは両側に資源の存在がある

# 地域資源保全のためのエコツーリズム戦略



# END



北海道大学観光学高等研究センター 敷田麻実  
ホームページのご案内

<http://www.cats.hokudai.ac.jp/shikida/>

「敷田」で検索すると見つかります